

会 議 録

会議の名称	令和2年度茨木市青少年問題協議会
開催日時	令和3年2月15日(月) 午後5時00分 開会 午後5時57分 閉会
開催方法・場所	オンライン会議ツール「Zoom」、茨木市役所南館6階会議室等
会 長	福岡 洋一 (茨木市長)
出席者	岡田 祐一 長谷川 浩 大嶺 さやか 河井 豊 三川 俊樹 (部会長) 福井 斉 内田 正俊 越智 聡 辰本 房江 須山 文絵 中村 亀雄 藤原 良成 桑本 由利子 明瀬 秀憲 平松 克一 藤森 潔文 浦野 祐美子 【計17人】
欠席者	角谷 典計 増野 浩典 阪口 克美 (オブザーバー) 【計3人】
事務局職員	小田教育総務部長 松本教育総務部次長兼社会教育振興課長 山内社会教育振興課参事 村岡社会教育振興課主査 山口社会教育振興課主査 【計5人】
開催形態	公開
議題(案件)	(1) 副会長の選任 (2) 審議案件 専門部会からの付託事項報告 ・青少年健全育成のための重点目標と取組状況 ・青少年健全育成重点目標リーフレットの更新 ・ほっとけん！アワードの決定 (3) 報告案件

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	【開会】【委員紹介】
福岡会長	【あいさつ】
事務局	委員出席状況について報告。議事進行を福岡会長に交代。
福岡会長	案件（１）「副会長の選出について」を議題とする。 茨木市青少年問題協議会条例第４条第３項の規定に基づき、本協議会の副会長を互選する。
	<事務局一任>
事務局	前年度に引き続き岡田教育長にお願いしたいと考えているが、よろしいか。
	<異議なし>
福岡会長	岡田教育長に本協議会の副会長をお願いする。それでは（２）「専門部会からの付託事項報告」について、部会長より説明を求める。
三川部会長	今年度、２回の専門部会を開催し、昨年度からの付託事項「青少年健全育成のための重点目標と取組状況」と「青少年健全育成重点目標リーフレットの更新」、「ほっとけん！アワードの決定」について検討した。 資料１「令和２年度 茨木市青少年育成のための重点目標と取組状況（案）」に沿って、今年度の提案内容を中心に報告する。青少年問題協議会では、関係する団体・組織の委員が集まり、青少年の健全育成に関する総合的な施策の審議を行っている。本協議会ではこれまでに定めた重点目標である「子どものＳＯＳほっとけん!?大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を継続し、市内の青少年向け行事でこの目標を意識して取り組んでいただくために、行事の計画時と実施後に自己点検アンケートに記入いただくことや、周知期間を概ね３年間にすること等を協議決定している。この重点目標をふまえて、家庭・学校・地域・行政機関が具体的な取組を行い、青少年の健全育成に寄与することを呼び掛けている。 ２ページ以降に、子どもの発するＳＯＳのサインの種類や大人の接し方や心がけ、また、青少年のインターネット使用時間の増加とＳＮＳに起因する事案の被害児童数の推移等を示し、大人の見守りの必要性を促している。

事務局	<p>7ページから9ページは、重点目標の取組状況について、その指標となる自己点検アンケートの趣旨・目的と前年の計画時から実施後の2回のアンケート結果と今年度の行事計画段階のアンケート結果を示している。</p> <p>これまで重点目標を意識した効果が表れていた「青少年との役割分担」では「青少年が一部を担当」が増加し、「全て大人が担当」が減少する傾向となっていたが、令和2年度の計画では逆転し「全て大人が担当」が10%増加し、「青少年が一部を担当」が8%減少した。また「青少年の指導・助言をおこなったか」の問いでも「青少年に一部を指導・助言した」が11%減少した。</p> <p>以上の結果から、自己点検アンケートを開始した平成30年度から青少年健全育成行事への見直しが図られ、行事の計画から実施において重点目標である「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組が進んでいる一方で、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため大人と青少年が相談する場面の極端な減少が伺える結果となった。</p> <p>このコロナ禍での各青少年健全育成団体の活動状況の特集について事務局より説明する。</p> <p>各青少年健全育成団体の活動状況において、新型コロナウイルス感染拡大禍での本市青少年健全育成団体の活動状況を更に詳しく把握するために、青少年健全育成事業補助金交付対象団体からの事業実施報告書等から「行事数」、「場所」、「時期」について過去2年と比較し、コロナ禍でも実施された行事の傾向や各団体の感染拡大防止を踏まえた活動事例をまとめている。</p> <p>まず10ページの令和2年度と過去2年の行事数の比較からは、令和2年は例年の約37%の青少年健全育成行事が中止となったことが分かる。</p> <p>11ページでは「場所」と「時期」を比較した。場所の比較では、屋外活動の中止がやや多いが、屋内との大きな差は見られなかった。時期の比較では、例年行事が多い夏休みと秋季の8月・11月の行事中止が目立つ結果となった。これは本市の小中学校の夏休みの短縮の影響と先行きが不透明な新型コロナウイルスの感染を回避した結果であるのではないかと推測している。また、コロナ禍でも実施できた行事を種目別に分析すると、屋外スポーツや清掃活動、広報誌発行等、3密になりにくい行事を中心に計画・実施されていることが分かった。</p> <p>15ページでは専門部会内で共有した感染拡大防止を踏まえた活動の事例を掲載している。小学校区青少年健全育成運動協議会では飲食を伴うものを避けるために、毎年恒例の「もちつき大会」では会場内では食べずに、餅をつく体験のみ可能とする等、青少年の体験活動をゼロにしない工夫を行い実施されたことが報告された。</p> <p>中学校区青少年健全育成運動協議会では校区フェスティバルを広報誌発行に切り替え、中学校の美術部員が作成したイラストを背景に、中学校区内</p>
-----	---

	<p>の幼稚園や小学校の紹介や、青少年を見守る青少年指導員、青少年健全育成運動協議会、PTA等から青少年に向けた応援メッセージを掲載する等コロナ禍であっても地域のつながりづくりをあきらめない事例の報告があった。また、青少年指導員連絡協議会やPTA協議会からは、WEB会議を始め、密になりがちな研修会は動画を撮影し配信する等、デジタル技術を活用した取組の紹介があった。</p> <p>青少年教育施設において、青少年野外活動センターでは、密を避けるために日帰り・短時間で実施できる体験キャンプを企画し、市民のコロナ禍での体験活動の機会提供ができた例を紹介している。</p> <p>17 ページでは、「ほっとけん！アワード」を審査基準とともに紹介している。21 ページ以降は、各青少年健全育成団体の令和元年の行事实施結果と令和2年度の行事实施状況、育成者対象の行事、青少年問題協議会の役割等を時点修正している。なお、この冊子は3月に発行予定である。</p> <p>重点目標啓発リーフレットについては、掲載内容の時点修正に加え、青少年が使い易いようQRコードから市のホームページに移り、青少年の相談連絡機関につながるよう更新した。専門部会では、これまでより委員間および関係機関からの情報提供を受けているが、このネットワークを生かして、コロナ禍における安全安心な青少年健全育成活動を提案・発信する等、時代に応じて多様化する青少年の問題に取り組んでいく。</p>
三川部会長	<p>ただいまの説明に対し、質問や意見等があれば、発言を求める。</p> <p><質疑等なし></p>
福岡会長	<p>「重点目標と取組状況」「リーフレットの更新」(案)について承認することよろしいか。</p> <p><異議なし></p>
福岡会長	<p>「ほっとけん！アワードの決定」を議題とする。部会長からの説明を求める。</p>
三川部会長	<p>このアワードは、各行事で青少年の役割を意識・計画し、自己有用感を高めるための工夫をする等の地域行事を推奨し、表彰することで、青少年団体の活動意欲の向上を図り、また、選出の母体となる各協議会内においては、アワードの選考過程で互いの報告から活動内容を理解し、横のつながりを深めていただき、更に市民全体に結果の公表を行うことで地域に好事例をフィードバックすることを目的としている。</p> <p>既に協議会内では各行事の選出が行われ、その際には「青少年の積極的な</p>

<p>事務局</p>	<p>行事参加への工夫」や「地域人材に協力をいただく方法」等、同じ行事に携わる団体ならではの数々の工夫点の共有が予想以上になされたと聞いている。その後、11月26日（木）に開催した第2回専門部会にて代表の4つの行事について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のプレゼンテーションから書類審査に切り替え、検討を行った。手元の資料は、採点結果と実際のエントリーシートである。事務局より4つの団体の紹介を願う。</p> <p>今年度のほっとけん！アワードは、新型コロナ禍にもかかわらずエントリーをいただき、各協議会から推薦を受けた4つの行事の工夫点を専門部会で共有し、審査した。その概要について、資料3に沿って報告する。</p> <p>豊川中学校区青少年健全育成運動協議会「とよかわフェスタ」では、校区独自に掲げる重点目標も設置し、取組を進めるほか、司会進行やステージ発表、ポスター・チラシの作成等について、青少年の希望を尊重し、準備段階から青少年と参加団体が世代を越えて相互に交流した。また、日々の部活動やサークルで培った技術や知識を活かせる場を提供する等の工夫が見られた。</p> <p>西小学校区こども会育成連絡協議会「おたのしみ会」では、福祉委員会やレッツ青少年会等の地域組織と協力し、参加者の交流や親睦を深めている。また、小学6年生が企画段階から参加し、一人ひとりが何らかの役割を担当し、リーダーシップを発揮できる場となっており、大人は子ども達のサポート役に徹し、青少年が達成感と自信を得られるように見守っていた。</p> <p>東雲中学校区青少年指導員会「東雲中学校区ふれあいウォーク」では、子どもから大人までが地域の要所を巡り、クイズや輪投げ等のゲームに挑戦して参加者同士の関係性を築き、地域への愛着を育んでいることや、中学の部活同にも参加を呼びかけ、中学生も運営側の視点で積極的に行動する場ができていた。また、表彰式やカレーの炊き出し等を通じて、顔見知りができ、声かけのしやすい地域づくりにつながっているという工夫が見られた。</p> <p>大池小学校区青少年健全育成運動協議会「新春大池フェスタ」では、準備段階から教師やPTA、こども会と連携し「参加したくなる」イベントを練り上げた。ゲーム感覚の体力測定は、楽しみながら体を動かす機会となっていたり、年長者によるコマ回し等の昔遊びの指導のほか、餅つきを行う等、子どもも大人も大喜びの世代間交流となっていた。</p> <p>以上の内容を、資料1の20ページの審査基準に照らし、各協議会や専門部会で審査し、資料3に採点結果を示している。その結果、今年度のほっとけん！アワードには豊川中学校区青少年健全育成運動協議会の「とよかわフェスタ」を選出している。また昨年度は、青少年イベント内での表彰式を実施していたが、新型コロナ禍で、大人数が集まるイベントを開催できないため、オンラインで実施する青少年健全育成研修会や市ホームページへの掲載、また重点目標と取組状況の冊子配布等を通じて関係団体や市民に周知する。</p>
------------	--

三川部会長	<p>今年度の「ほっとけん！アワード」は、豊川中学校区青少年健全育成運動協議会の「とよかわフェスタ」を専門部会より選出した。「とよかわフェスタ」は中学校区内の小学生から大学生までが協力し、ステージ発表や司会進行、ポスターやチラシの作成等を行う等、青少年が企画から当日の運営に至るまで多く関わり、大人が付かず離れずの距離感で見守り、関係づくりをされ、日々の部活動やサークルで培った知識や技術を生かせる場を提供し、青少年の自主性や自己有用感を育てられる点が特に評価が高く、今年度の選出とした。</p> <p>なお、令和3年度の「ほっとけん！アワード」については、新型コロナ禍で実施できた行事が少ないこと等から、従来の対象である前年度実施済みの行事に加え、令和3年9月頃に開催予定の審査会までに実施された行事を対象とする等、今年度やむなく中止をした地域青少年育成行事の再開を促し、コロナ禍でも活動意欲の向上につながるよう工夫をして実施する。</p>
福岡会長	<p>意見や質問はあるか。</p> <p><質疑等なし></p>
福岡会長	<p>ほっとけん！アワードは豊川中学校区青少年健全育成運動協議会の「とよかわフェスタ」に決定することよろしいか。</p> <p><異議なし></p>
福岡会長	<p>専門部会においては、引き続き重点目標に沿った本市青少年育成の取組状況を随時把握し、必要に応じて関係機関と連携し、次なる茨木を担う青少年育成のための施策の研究・検討をお願いしたい。</p> <p>次に（3）「報告案件」として、茨木警察署 藤原委員から最近の犯罪の発生状況等について情報提供を求める。</p>
藤原委員	<p>青少年の非行情勢として、大阪府下及び茨木市内における刑法犯検挙補導の状況について説明する。なお、数値は確定値ではなく、現時点の暫定値である。大阪府下での検挙補導人員は約2,300人であり、前年比約240人の減少が見られる。また、茨木市内では約40人であり、前年比約5人の減少となっている。</p> <p>大阪府下、茨木市内ともに青少年の刑法犯検挙補導人員が減少しているように見える一方、特殊詐欺事件への加担が懸念されている。SNS等を通じ、「簡単なアルバイトがある。」等の甘い言葉に誘われ、高齢者等に電話をかける「かけ子」や、騙された方からキャッシュカードを受取る「受け子」等の役割に加担し、被疑者になってしまう事例がある。</p> <p>警察として、高齢者に特殊詐欺の注意喚起をするとともに、青少年に対</p>

	して非行防止教室等を実施し、犯罪に加担することの無いよう、啓発している。
福岡会長	意見や質問はあるか。
大嶺委員	今後、学校ではタブレットが全児童・生徒に普及していく。多くの保護者は、家庭内で子どもがY o u T u b e等を勝手に見ることができる環境であることを心配している。次年度に向け、インターネットの使い方も課題として当協議会で取り上げてもらいたい。
三川部会長	継続して検討してまいりたい。
福岡会長	他に意見や質問はあるか。無ければ、本日の議事は終了とする。
事務局	【青少年健全育成研修会、こども政策課作成資料について情報提供】
岡田副会長	【あいさつ】
司会	以上をもって、令和2年度茨木市青少年問題協議会を終了する。